

木崎中だより

1号

令和3年4月8日(木)
さいたま市立木崎中学校
048(886)4302

新年度のスタートにあたって

校長 稲田 正平

令和3年度さいたま市教育委員会人事異動により、前校長大谷慎也先生の後を引き継ぎ、4月1日着任いたしました稲田正平でございます。伝統ある木崎中学校に着任し、身も引き締まる思いでいっぱいです。よろしくお願い申し上げます。

幾種もの花が咲き誇る春たけなわの本日、コロナ禍の中で限られた人数の保護者の皆様とともに、無事始業式および入学式を挙行することができました。そして、272名の新入生を迎え、2年生306名、3年生270名、計848名の生徒とともに、教職員一同、本年度の教育活動の第一歩を踏み出すことができました。心より感謝申し上げます。

令和3年度の本校の教育につきましては、学校教育目標「よく考えて行動する生徒 思いやりのある生徒 はつらつとした生徒」のもと、学校経営方針「一人ひとりの生徒が誇りを持ち、保護者・地域住民に信頼され、未来を拓く学校の創造」を目指して、生徒一人ひとりを大切にして学校経営に励んでいきます。まずは教職員が一丸となって「凡事徹底」「率先垂範」「共汗・共感」のもと連帯感を持ち、生徒一人ひとりに寄り添って教育活動に取り組んでまいります。また、今年度は本市の「GIGA スクール構想」のもと、対面の一斉授業と一人一台のタブレット型PCを活用した授業で効果的な学習指導を推進していきます。各教科の学びはもとより、教科を横断した「探求的な学び」にも効果のある学びにつながります。そして、この学びは学校だけでなく家庭での学習にも活用していきます。その際には、インターネットへの接続などネットワーク環境の整備のご協力をいただくこととなります。ご理解のほどよろしくお願いいたします。さらに本校は今年度、学校運営協議会準備委員会を立ち上げます。これは来年度から学校運営協議会を設置してコミュニティ・スクールを立ち上げるための準備です。学校運営協議会は、本校職員を含め関係する地域の方など15名で構成し、学校運営及び運営に必要な支援に関して協議する機関です。教育委員会及び校長の責任の下、保護者、地域住民等による学校運営への参画及び支援と協力を促進することにより信頼関係を深め、生徒を健全に育成することを目的にしています。これからも本校が一層この地域との関係を深め、保護者と地域の皆さまと共に、子どもたちが健やかにそして心豊かに安全で安心して成長できるように協働して取り組んでいきたいと考えています。準備委員会では「地域でどのような子どもたちを育てていくのか」「そのために学校、家庭、地域が一緒にできることは何か」などの協議を始めます。本校の生徒が5年後、10年後、変化の大きい現代社会を力強くたくましく生きていくために、①自ら考え、自分の意見を持ち、他人を尊重できる生徒 ②自他を思いやり仲間と協力をして良心に従って行動する生徒 ③さわやかなあいさつができ困難にくじけず木崎中が好きと言える生徒を育てたいと願っています。こうした願いを込めながら学校経営方針を立てていますが、今後は、こうした学校経営方針も地域や保護者の方の意向を反映させて、学校運営協議会で承認を得てコミュニティ・スクールが実施されることとなります。学校と地域、保護者が一体となって本校の生徒の育成に関わっていただけるような組織にしたいと考えています。そのための組織づくりとして学校運営協議会準備委員会を発足します。何卒ご理解ご協力くださいますようお願いいたします。